

キャラクター名	プレイヤー名
スランボ・ヨツンヴァイン	

メインクラス	アコライト	Lv.1:		レベル	8
サポートクラス	セージ	Lv.1:	ウォーリア	性別	男
称号クラス				年齢	200
種族	エクスマキナ			境遇	栄光と内実
出自(効果)	一流の冒険者			目標	自我の目覚め

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	20	9	7	19	9	13	9
ボーナス	6	3	2	6	3	4	3
クラス修正	0	1	0	2	1	1	1
他修正	1			1			
能力値	7	4	2	9	4	5	4

HP	87
MP	77
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	カドケウス	至近		CL				-1	
左手	□ディバインコールで召喚								
頭部	ハット					1			
胸部	マキナオベルクアート					7	5		
補助	クイックバンド							2	1
装身具	高位聖印								
能力値			4	0	2	0	5	6	12
スキル	アケラ								
その他									
総計(右)			4	0					
総計(左)			4	0	2	8	10	7	13
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 2 d
エネミー識別	9			9	+ 2 d
アイテム鑑定	9			9	+ 2 d
魔術判定	9			9	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	4			4	+ d

所持品	
冒険者セット	□ハイMPポーション*5
バックパック	ハイHPポーション
スリッパのクリスタル	ハイHPポーション
□はめ込み費用	万能薬
筋力のクリスタル	万能薬
□はめ込み費用	香水
知力のクリスタル	ウィリアに貸した
□はめ込み費用	ビーストカレー
防壁のクリスタル	異次元バック
□はめ込み費用	理力符(火)
ポーションホルダー	理力符(水)

現在重量:	29	所持金:	3584	預金・借金:	
最大重量:	30				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ソウルインストール	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 取得時に能力値をひとつ選択し、その能力値を使用した判定の達成値に+1(幸運)								
プロテクション	5	3	DR直後	20m	単体	自動成功	1/MP	
効果: 対象が受ける予定のダメージに-[SLd]								
ヒール	1	4	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 対象のHPを3D+CL*3回復.								
アフエクシオン	1	-	DR直後	20m	単体	自動	汁1	
効果: ダメージ0.								
レイズ	1	10	メジャー	20m	単体	魔術		
効果: 戦闘不能回復HP2d,行動済.								
	○							
効果:								
ディフェンダー	5	3	マイナー	-	自身	自動		
効果: 物防+SL*3,シーン継続.								
マジックディフェンダー	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 《ディフェンダー》を魔防にも適用.								
	1							
効果:								
エンカレッジ	1	6	イニシアチブ	20m	単体	自動	汁1	
効果: イニシにメイ.								
アプリケーション	1	-	マイナー	-	自身	自動	汁1	
効果: MP回復CL*5.								
ダンシングヒーロー	1	-	判定直前	-	自身	自動	汁1	
効果: 判定に+1d.								
	○							
効果:								
エンサイクロペディア	1	-	セットアップ	-	自身	自動		
効果: エネミー識別セットアップ.								
コンコーダンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 場面選択視界のエネミー識別可.								

私は一人の科学者によって造られた自己修復型長期探索機「スランボ型」のプロトタイプ。生まれた瞬間から彼の出す指示に従い、彼の求める物を探索していた。人の踏み入れることができない危険な場所にもよく行ったし、一人で探索不能な場所ではPTを組んで任務にあたった。人は私を”一流の冒険者””白銀のヨツンヴァイン”などと持て囃していたが、果たしてあの頃の自分は今ほど笑っていたかわからない。心穏やかではあったが、どちらかという”あまり感情の高ぶりを感ぜない”に近かったように思う。私はきつ”必要なことだけ”をしていた。製造所を出てからは、マスターには一度も会っていないし、任務の通知はきても私を気遣う言葉は一度たりとてなかった。

ある日の雪深い山での任務中、私は時季外れの落雷に打たれた。雪山でほぼ全壊状態となり薄れゆく意識の中で”穂高梓”に助けられた。梓は私の返還先が見つからないとなると、自宅に連れ帰り伝手を頼って私を治してくれた。修復には長期を要し、その間、梓は甲斐甲斐しく世話をしてくれた。人生で初めて訪れた静かな時間、私と梓は様々な話をした。梓は誠実で優しい、けれど少し強がりな女性だ。私の姿のせいだろうか、そんな梓は私の世話をしながら時には弱さも見せてくれる。私も交流を通し、自分の中に今までになかった感情が芽生えていくような気がした。性質が元々似ていた私たちはともに過ごすうち、弱みを相談したり補いあったりしてお互いのよき理解者となった。

やがて私は修復された。梓は「手を尽くしたが以前の性能までは届かなかった」と申し訳なさそうであったが、かえって私は晴れやかだった。途切れることなく生きていた任務はもう届かなくなった。自由になったのだ。感謝を述べ、行く当てもないので梓の力になりたい旨を申し出た。このしっかり者で強がりな女性を守って生きていこう。私のボディも、もっと女性の気に入るようなものに変更すべきだな…、ヨシ。「もふもふでかわいい外装を頼む。」

梓に危険な任務がきてしまった。ひとりで行かせるわけにはいかない。私がきつと守り切って見せよう。高難度地域への長期探索ならば自己修復型長期探索機「スランボ・プロトタイプ」の得意とするフィールドだ。

・200年前に一人の科学者によって人権無視で作成されたエクスマキナのプロトタイプ。壊れにくくデータを早く運び解析ができる従順な機械がコンセプト。  
 ・任務遂行を至上命題として行動。イレギュラーのもととなる感情は非常に低く設定。(人権無視ポイント)

